

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス両国教室			
○保護者評価実施期間	2025 年	11 月	1 日	～ 2025 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 8 名	(回答者数)	3 8 名
○従業者評価実施期間	2025 年	11 月	1 日	～ 2025 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 1 名	(回答者数)	11 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年	12 月	18 日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様の成長のために労苦を惜しまず、自分を磨くなど向上心にあふれ、努力する職員がいてくれること。	・お子さんの成長に必要な支援を常に考える課題意識をもっていること。 ・朝会や日頃の職員の会話を通して子どもの支援の共通理解を図る姿勢があること。	・専門的な運動療育、子ども理解のための研修の充実を図ることが必要である。
2	・療育プログラム・教材準備。指導方法の充実がされている。	・年間を通して療育のプログラム・言語聴覚士の教材指導方法の内容の充実と工夫がなされていること。	・3 か月に1回、本社から指導の専門家による指導があることを更に、毎日のこどもへの支援に活かしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	・日頃の事務作業の効率化が出来ない。 ・午前中の時間の活用の仕方に工夫が必要である。	・煩雑にならないように努めているが人員の少なさから、事務作業が膨大となってしまう。・午前中に集中して取り組めるような仕事の流れに組み替えていくことが必要である。	・効率の良い事務作業の進め方を考える改善を図る。
2	・学校からの引き渡しの際に子どもの様子など上手く聞くことが出来ない。	・学校の先生もお忙しいため、なかなか聞いて情報をえるという姿勢を教室の指導員ももてなかった。	・短くとも参考になる質問を子どもの情報を共有するためにも単時間で工夫して伺っていく努力をする。(必要な時にのみ)